

2013 年度 春学期

レポ ー ト 課 題

科 目 名	公共政策総合演習	担当教員	白木 三秀他
レポート課題	①M1 秋(2012 年 9 月入学者) 自身の研究に関連のある先行研究を 3 本以上取り上げて整理すること。その際、先行研究に対して必ずコメントを述べること。先行研究と比較した際の自身の研究の独自性を述べると更に良い。(表紙と参考文献表は含めず)A4 用紙 3 枚以上を<u>ホチキスで綴じて</u>2 部提出すること。 ②M1 春(2013 年 4 月入学者) 自身の研究に関連のある先行研究を 3 本以上取り上げて整理すること。その際、先行研究に対してコメントを述べると更に良い。(表紙と参考文献表は含めず)A4 用紙 3 枚以上を<u>ホチキスで綴じて</u>2 部提出すること。		
制限枚数	上記参照		
提出締切	経研事務所提出：7 月 23 日 締切		
備 考	1. 提出は原則として 7 月 23 日であるが、都合が悪い場合はそれより早く提出することも可能である。遅れての提出は相応の理由がない限り認めない。 2. レポートには必ず自身の学籍番号・名前と所属ゼミ名(指導教員名)を明記すること。M1 春の学生で指導教員が決まってない者は指導を希望する教員名を明記すること。 3. 提出する前にライティングセンター(7 号館 1 階)を利用するとよい。ライティングセンターでは学術的文章専門のチューターがおり、様々なアドバイスがもらえる(英語・日本語両方可)。利用にあたっては早稲田ネットポータルから予約できるが飛び込みでも見てもらえる。		

2013 年度 春学期 2013 Spring Semester

レポ ー ト 課 題 Report Topic

科 目 名 Course Name	理論経済学総合演習 A(修士)(理論領域)	担当教員 Professor	田中 久稔
レポート課題 Report Topic	講義内にて指示のあった通りとする。		
制限枚数 Max. Pages	なし		
提出締切 Submission Deadline	経研事務所提出：7 月 31 日 17:00 締切		
備 考 Notes			

2013 年度 春学期 2013 Spring Semester

レポ ー ト 課 題 Report Topic

科 目 名 Course Name	景気分析入門 I	担当教員 Professor	嶋中 雄二
レポート課題 Report Topic	以下、4つの課題の中から1つを選び、本文3,000字程度で述べよ（図表や参考文献も必要だが、字数には含まない）。 - 景気循環の5つの特性について詳しく説明せよ。また、景気循環について、何故これを「変動」ではなく「循環」と呼ぶべきなのか、理由を述べよ。 - 日銀短観の直近6月調査では、代表的な指標である大企業・製造業の業績判断DI（「良い」－「悪い」）がプラス4となった。一方、中小企業・製造業の業況判断DIはマイナス4となった。大企業と中小企業について、製造業の業況判断DIの水準から判断すると、日本の景気は、それぞれいかなる局面にあると考えられるか。また、非製造業についてはどうか。さらに、全規模合計ではどうか。シュンペーターの4局面図式を用いて説明せよ。 - 内閣府経済社会総合研究所は、戦後第14循環の景気基準日付に関して、景気の山を2008年2月、また景気の谷を2009年3月と、各々確定している。これらの日付確定の根拠について論ずるとともに、次の第15循環の山を現時点で暫定的に設定するとすれば、何年何月となるか、その根拠も併せて述べよ。 1885年から利用できる、名目設備投資/GDP比率という1つの系列から導き出された、日本のキッチン、ジュグラ、クズネッツ、コンドラチェフの4つのサイクルについて、各々の現在の位相を分析して説明せよ。また、この複合循環の現局面を何と呼ぶか、名称を示せ。		
制限枚数 Max. Pages	3,000字程度。		
提出締切 Submission Deadline	教場での提出： 7月29日の授業時間		
備 考 Notes			

2013 年度 春学期 2013 Spring Semester

レポ ー ト 課 題 Report Topic

科 目 名 Course Name	社会保障の経済学（所得保障の経済分析）	担当教員 Professor	山本克也
レポート課題 Report Topic	1 公的年金を、社会保険方式ではなく、税方式で運営可能か？ 2 厚生年金保険が導入された理由を、あなたは、どう考えるか？ 3 企業年金の今日的意義はなんだろうか。 4 あなたが企業経営者ならば、どういった方針で企業年金を設定するか？ 5 大卒の新規雇用者が3年程度で辞める傾向にあるというが、この現象をどうかんがえるか？ 6 非正規就労の増加は、日本の社会保障にどのような影響を与えるだろうか？ 7 男女の賃金格差について、日本と自分の国の現状を比較して考察しなさい。 8 適当なデータを用いて、日本の所得格差の現状について記しなさい。 9 古典的ロールモデル（男は外で働き、女は家で家事や子育てを行う）についてどう考えるか？ 10 生活保護世帯の増加を、どう考えるか。 11 外国人の生活保護適用について、どう考えるか。		
制限枚数 Max. Pages	最低二つの課題を提出。分量は default の word の設定で A4 一枚（約 1200 字）、図表等を添付する場合は、この限りではありません。		
提出締切 Submission Deadline	必ずテキストファイルか Ms-Word で作成し、kyamamo2008@gmail.com に提出のこと。 締め切りは 7 月 31 日午後 5 時厳守のこと。		
備 考 Notes			

2013 年度 春学期 2013 Spring Semester

レポ ー ト 課 題 Report Topic

科 目 名 Course Name	金融論	担当教員 Professor	小倉 義明 yogura@waseda.jp
レポート課題 Report Topic	ファイナンスの主要雑誌（Journal of Finance, Journal of Financial Economics, Review of Financial Studies）、および経済学の主要雑誌（American Economic Review, Journal of Political Economy, Econometrica, Quarterly Journal of Economics, Review of Economic Studies）に過去 10 年以内（2003 年 1 月以降）掲載された、銀行理論あるいは企業金融に関する、理論あるいは実証分析を取り扱った論文を一つ選び、以下の内容を備えたレポートを A4（字の大きさは 11pt）で 10 ページ程度（15 ページを超えないこと）にまとめて提出しなさい。レポートのタイトルに、必ず論評対象とした論文の題、著者、掲載雑誌名、巻、ページを明記しなさい。 a. 論文の要約（①目的、②分析手法、②' 実証の場合はデータの出所と特性、③数理・実証モデルの設定・仮定の詳細、④主要な発見、⑤主要な発見を導くために必要な数式展開）。 b. 論文に対する批判（仮定や分析手法、あるいは分析結果・解釈に関する批判） c. 分析改善の提案 提出期限：2013 年 7 月 31 日（水）17:00 提出先：経済学研究科事務室 注 1：採点基準 ○ a が間違いなく、完璧にできていれば、70 点。 ○ a と b が間違いなく完璧にできていれば、85 点。 ○ a,b,c がすべて完璧にできていれば、100 点。 ○ <u>誤字脱字、用語の誤り、文法の誤りなどは 1 点減点。</u> ○ <u>論理展開に重大な飛躍がある場合は大幅減点。</u> ○ 文章をそのまま引用することは極力避けること。ただし、理論論文における Proposition, Theorem, Lemma, Corollary についてはそのまま引用してもよい。この場合は、必ず「」で囲み、原論文での掲載箇所（原論文〇〇ページ、〇〇行、Proposition 〇〇）を直後に明記しておくこと。 ○ 本学では剽窃検出ソフトウェアを導入済みであることに注意されたい。 注 2：論文の選択について 授業で名前は挙げたものの、詳細を紹介しなかった論文であれば、それを選択してもよい。上記主要雑誌は学内の PC から（自宅からの場合は VPN		

	接続、詳細は 7 号館 1 階のポータルオフィス）、図書館のホームページ → 「電子ジャーナルを探す」と進むことで検索・ダウンロードできる。自分の選択に自信がない人は、事前に私に相談すること。 （選択可能な論文の例） Keys, B., Mukherjee, T., Seru, A., and V. Vig, 2010, “Did securitization lead to lax screening? Evidence from subprime loans,” Quarterly Journal of Economics 125(1):307-262. Acharya, V., Schnabl, P., and G. Suarez, 2013, “Securitization without Risk Transfer,” Journal of Financial Economics 107: 515-536. Parlour, C., and G. Plantin, 2008, “Loan Sales and Relationship Banking,” Journal of Finance 63(3): 1291-1314. 以 上
制限枚数 Max. Pages	A4（字の大きさは 11pt）で 10 ページ程度（15 ページを超えないこと）にまとめて提出しなさい。
提出締切 Submission Deadline	経研事務所提出：7 月 3 1 日 17 : 00 締切
備 考 Notes	

2013 年度 春学期 2013 Spring Semester レポ ー ト 課 題 Report Topic			
科 目 名 Course Name	ジャーナリストのための経済分析入門	担当教員 Professor	片岡 剛士
レポート課題 Report Topic	アベノミクス、TPP 等の対外経済政策といった時事的テーマを一つ選んだ上で、内容と評価をレポートとしてまとめてください。詳細は講義でお話したとおりです。		
制限枚数 Max. Pages	字数は 1 万字以上（図表込み）。動向を示した図表を一枚必ず入れること。		
提出締切 Submission Deadline	教場での提出： 7 月 2 5 日の授業時間		
備 考 Notes			

2013 年度 春学期 2013 Spring Semester レポ ー ト 課 題 Report Topic			
科 目 名 Course Name	財政学	担当教員 Professor	馬場 義久
レポート課題 Report Topic	講義でとりあげた租税理論から、任意に一つ選び、それについて論じなさい。		
制限枚数 Max. Pages	2000 字以内。注、参考文献および図表は字数にカウントしない。		
提出締切 Submission Deadline	経研事務所提出：7 月 2 6 日 1 7 : 0 0 締切		
備 考 Notes	A4、横書きで印刷すること。参考文献を明示すること。		

2013 年度 春学期 2013 Spring Semester レポ ー ト 課 題 Report Topic			
科 目 名 Course Name	人的資源管理の経済学	担当教員 Professor	白木 三秀
レポート課題 Report Topic	テキスト（『国際人的資源管理比較分析』有斐閣）をよく読んで、次の2つの課題について論ぜよ。 1. 「多国籍内部労働市場」とは何か？その概念を説明し、その後、「多国籍内部労働市場」が十全に機能するための条件とは何かについて論ぜよ。それとの絡みで、海外派遣者比率が高い、低いということをどのように考えたらよいかについて述べよ。 2. 第3章、第4章、第5章の事例研究をよく読み、ヨーロッパ系多国籍企業やアメリカ系多国籍企業の海外子会社には TCNs が多く存在し、日系多国籍企業の海外子会社には TCNs がほとんど存在しないという点について、それはなぜか、またそれに絡んだ諸課題について論ぜよ。		
制限枚数 Max. Pages	全体で、A4、4～6枚程度にまとめよ。		
提出締切 Submission Deadline	経研事務所提出：8 月 5 日 1 7 : 0 0 締切		
備 考 Notes			